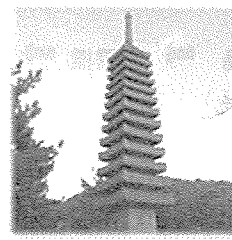
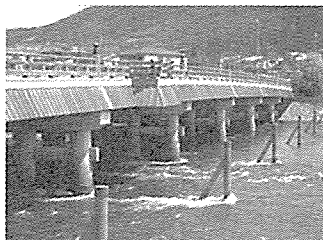
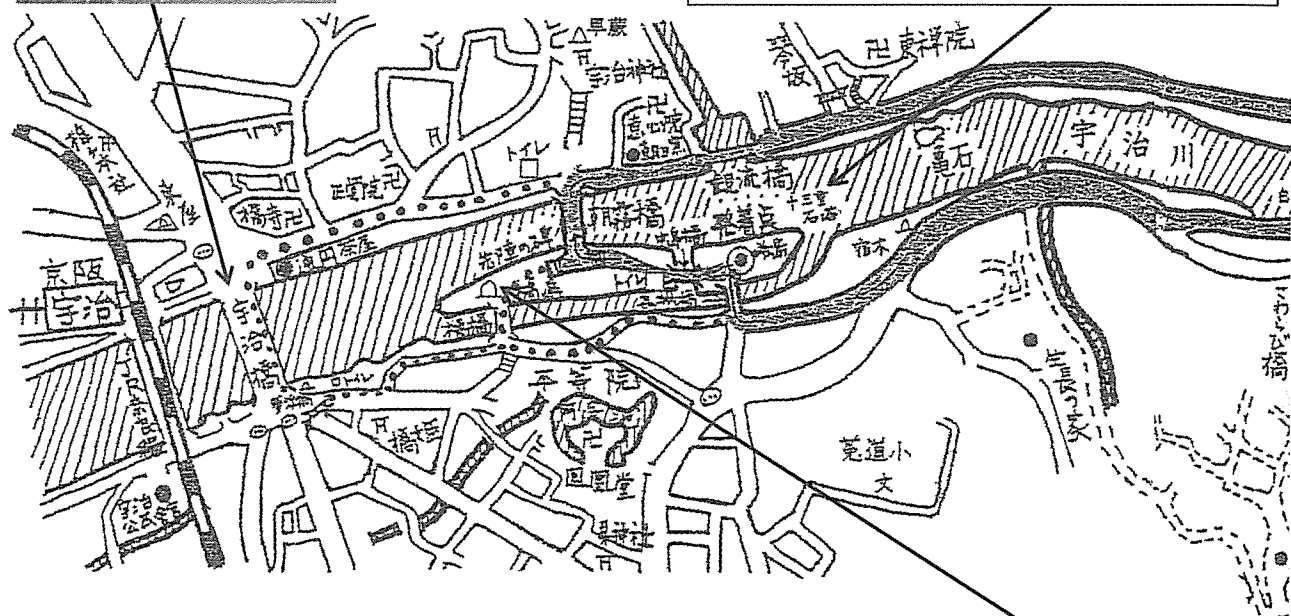


4. 天ヶ瀬吊橋・白山神社コース



●浮島十三重石塔

宇治橋を架け替えた南都西大寺の高僧叡尊が、1286年に造立したもので、15.2mという鎌倉時代としては、国内最大規模の高さがありました。基礎石にぎっしり詰まって刻まれている文句は、この塔の縁起を物語っています。1756年の大洪水に倒れて以来、長く河中に埋まっていたのを、1908年発掘再建したもので、その際破損していた9重目と傘石とを後補されました。



●先陣の碑

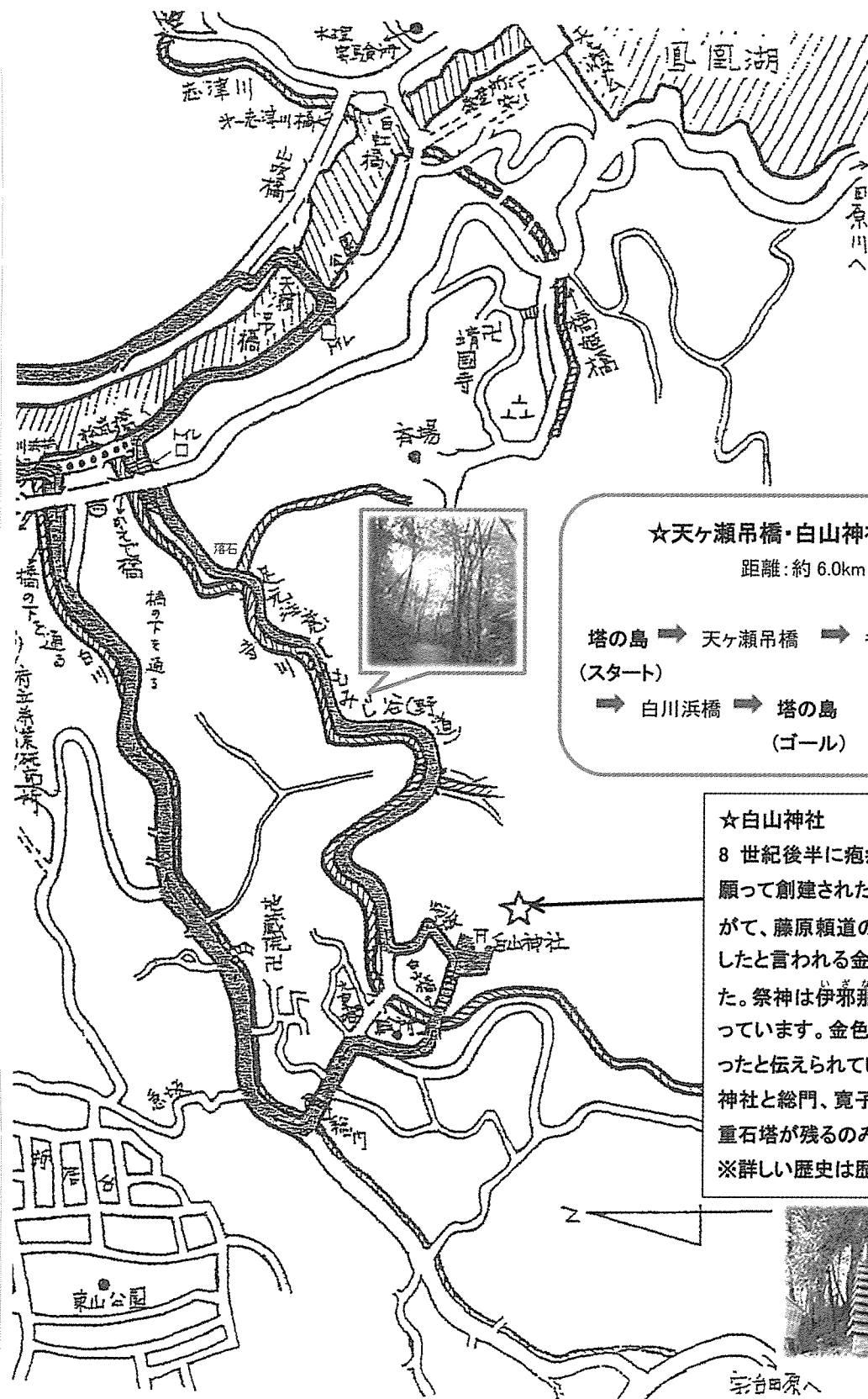
1184年、木曾義仲軍を攻める源義経の配下、佐々木四朗高綱と梶原源太影季が、それぞれ名馬の生贖と磨墨にまがり、先陣を争いました。これを顕彰して、1931年4月に宇治町在郷の軍人会によって建立されました。



☆天ヶ瀬吊橋コース☆

距離: 約 4.2km

塔の島 → 白川浜 → 宇治川左岸道 → 天ヶ瀬吊橋 (スタート)
 → 宇治川右岸道 → 宇治橋東詰 → 宇治橋西詰 → 塔の島 (ゴール)



☆天ヶ瀬吊橋・白山神社コース☆

距離: 約 6.0km

塔の島 → 天ヶ瀬吊橋 → もみじ谷 → 白山神社 (スタート)
 → 白川浜橋 → 塔の島 (ゴール)

☆白山神社

8世紀後半に疱瘡が流行した際、治癒を願って創建されたと伝えられています。やがて、藤原頼道の娘、四條宮寛子が建立したと言われる金色院の鎮守社となりました。祭神は伊邪那美命で、木造坐像を祀っています。金色院には多数の堂塔があったと伝えられていますが、現在では白山神社と総門、寛子の供養塔といわれる九重石塔が残るのみです。
 ※詳しい歴史は歴史コーナーにあります。

